

# 土壌の保水力を調べる

85

教師用解説書

## 実験概要

種類の違う土に水を十分に与え、その土を絞り、出てくる水の量を調べる。

## 実験の目的

水を保つ力は土の種類によって違いがあるだろうかを理解する。

## 実験材料

- 3種類の土壌  
(道路の土、畑の土、川の土)
- 30cm四方に切ったガーゼ
- 透明なカップ
- 大きめの容器



ガーゼは、2枚重ねて使用する。

## 実験手順

### ①道路の土の保水性



土は、事前にたっぷり与水を与え、下から水が出なくなったものを使う。

## ②畑の土の保水性



## ③川の土の保水性



### 実験結果と実験からわかってほしいこと

- 3種類の土から水をしぼり出してその量を比較したところ、道路の土、畑の土、川の土の順に水の量が多く取り出せることがわかった。



- 土壌の中に残っていた水はその土壌が保持することができる水の量を示している。
- 保水力は、川の土、畑の土、道路の土の順に小さくなる。

### 発展

- ★ 保水力が高いということは、水はけが悪いことを示している。土壌は場所によって状況(保水力や透水性など)が異なるため、作物を栽培する場合は、土壌に適した作物を選ぶ必要がある。